

瀬戸内タウンミーティング（邑久地区）

平成 23 年 10 月 24 日（月）19 時～21 時

瀬戸内市役所 大会議室

参加者：男性 19 人、女性 2 人、計 21 人

行政報告に対する意見と市長の回答

・邑久地区は、千町平野を中心に、十数年に一度災害に見舞われている。昭和 20 年の吉井川の堤防の決壊など、大きな被害もあった。近年、全国的に集中豪雨も頻発しており、雨のたびに水害の危険がある。山手地区では川がすぐに増水し、冠水の不安がある。南北道の説明会でも冠水の危険性について意見を申し上げたが、結局は標準設計どおりに作られ、道がカーブする部分ではかなり傾斜がついていて田より低くなっている部分があり、先日的大雨でも歩道が冠水した。川も、曲がっていたものを直線にするなどして、流れが急になったものもある。また、先日的大雨の際には、川のポンプが動かなくなったように聞いている。日常の管理はどのようになっているのか。水の管理・樋門の管理の所在はどこか。警報が出てから水を抜いていると聞いたが、千町川は、用排水分離ができておらず勾配もないため、警報が出てからでは遅い。また、千町川の拡幅は、岡山市側と調整ができておらず、進んでいないように聞いている。岡山市と十分話し合って進めてほしい。邑久地区は公民館が避難場所になっているが、山手から公民館まで避難するのは難しい。広報が聴こえないという問題とあわせて、自治会と行政が相談して避難場所の見直しを行ってほしい。

（市長）ポンプが止まったのは千田川で、管理は国が行っている。しかし、市民の安全を守るのは市であるため、今後も対策を行っていく。千町川の拡幅については、岡山市と連携して一緒に国への要望活動を行っている。最終的には国が決めることなので、今後も要望活動を続けていく。避難所については、中央公民館を避難所として開設はするが、来られない・危ないという場合も当然ある。また、東日本大震災のように、多くの地域で被害が発生した場合、現在の市の人員では、行政だけですべてをカバーするのは不可能である。市内では今城地区など地域ぐるみで防災に取り組んでいるところもすでにある。まずはそれぞれの地域でどこを避難所にするのがよいのか、災害が起きたときどうするのかについて話し合ってほしい。

・錦海塩田跡地は、使用方法が決まるまで荒れた状態にしておくのか。たとえば、笠岡湾干拓地などは、コスモスを植えており、名所になっている。錦海

塩田跡地は、一本松展望台から一望できる場所なので、ひまわりやコスモスを植えて観光客に見てもらうなど、使用方法が決まるまでの間は自然にマッチするような形で活用するのも一つの方法ではないか。

(市長) 現在も、管理上の問題などから、今まで使用していた方には、一定のルールのもと引き続き使用していただいている状態。また、産業廃棄物処分場は、覆土を行わなければ適正閉鎖ができないため、公共工事で出た土を入れている。現在は、どのような動植物が生息しているのか、堤防の強度はどうか、などといった基礎的な調査をしっかりとっておかなければならない段階で、将来的にはお金をかけず、経済効果が見込めるような活用方法を考えていきたい。しかし、活用方法の方向性が決まれば、実際に使用が始まるまでの間はおっしゃるような方法で活用することも検討したい。

- ・現在の市立図書館は、県立図書館と連携しており、蔵書にない本も借りることができる。ハコモノができたからちょっと涼みに行こうかな、というのではなく、現在あるものをフルに使って利用頻度を上げながら新しい形を考えていくべき。新しい図書館ができて使われなければ意味がない。

(市長) 現在、子どもたちに本を選ぶ喜びを身につけてもらうため、今月から新図書館建設に向けて増やした蔵書を活用し、巡回図書館のサービスを開始した。子どもたちにも保護者の方にも喜ばれている。新図書館建設に向けて、こうした利用頻度を上げるための取り組みを今後も進めていく。

- ・ざつ紙を資源化にまわした場合、クリーンセンターかもめの炉の温度はきちんと上がるのか。温度が下がれば、有害物質が発生するのではないか。また、子どもに環境意識を身につけてもらえるよう、たとえばエコキャップの回収を公立の小中学校で行えばよい。また、古紙回収については、ステーション回収だけでなく、岡山市内で民間が行っているような、いつでも持っていける窓口を、市役所などに作ってほしい。

(市長) 可燃ごみの組成が変わった場合、どのくらいの燃料が必要になるのか見ていく予定である。現在も、炉の運転にはかなりの量の燃料を使っている。そのため、ごみ量が減れば、燃料の使用量も減ると考えている。エコキャップ収集などの細かい取り組みは、すでに取り組んでいる学校もある。おっしゃるように、子どものうちから環境意識を身につけてもらうことは大切である。古紙などの回収場所を市役所に設けることについては、場所の確保の面で難しい。すでに市内にあるストックヤードを利用してほしい。

・錦海塩田跡地は、嵩上げをするのか、それとも今のまま活用するのか。浸水するような場所に企業誘致するのは難しいのではないか。

(市長)かつて、市が取得する以前に、錦海塩業でも嵩上げの計画があったが、関係者の理解が得られず頓挫している。行政がやる以上は、利害関係者との合意形成が大事であると考えている。

・地震が発生した場合、どのくらいの津波を想定しているのか。

(市長)県の想定では2メートルだったが、東日本大震災によって見直しを進めているところである。堤防の強度なども調べる必要がある。

・豊安地区には川はないが、家の近くにある溝が浅い上に傾斜がなく、1時間に30ミリ程度の雨であふれてしまい、隣の家や庭に水が来るような状態である。どこに相談したらよいか。

(市長)土木委員を通じて建設課に相談を。

・邑久地区の避難場所は公民館になっているが、低い。津波が来た場合には邑久高校の方が良いのではないか。

(市長)広範囲に被害があれば、公民館だけでは人が収容できないため、高校にお願いするような場合も出てくるかもしれない。しかし、高校は授業を行う場所であるため、第一義的には公民館を避難所として使用すべきと考えている。

・ごみ減量については、古紙は業者の廃品回収がまわってくるので問題ない。生ごみは、コンポストを使ったり、畑に埋めて肥料にしたりしている。また、生ごみ処理機の購入も検討している。しかし、布類の処分に困っている。

(市長)意識が高い方は、市がごみ減量大作戦を始める前から取り組んでくださっている。引き続きご協力をお願いしたい。布類については、ストックヤードや子ども会・老人会などの団体による回収を利用してほしい。

・避難所を開設した際に、毛布などの備蓄はできているのか。

(市長)毛布は準備しているが、食料関係は見直しをしている。

地域資源と活性化について、意見交換

・竹久夢二をなぜ取り上げないのか。注目されるだろうし、イベント性もある。

瀬戸内市民がもっと夢二のことを知って、市の誇りにしたい。子どもたちと人形劇をやっており、幼少時代の夢二をテーマにした作品に取り組んでいる

がなかなか広がらないので、今後も周知に努めていきたい。

- ・他の地域から移り住んで来たが、他所から来た者にとってはやはり夢二の印象が強い。10 年ほど前に夢二でまちおこしができないか、ということで話を聞いた際には、両備グループが力を入れているので行政としては難しいと聞いた。また、宵待草の歌を探したことがあるが、CD 化されたものがなかった。
- ・夢二生家や少年山荘には資料があまりない。郷土美術館本館・西大寺の方が資料が充実している。お願いして、こちらの展示内容を充実させてもらうことはできないのか。

- ・夢二生家からしおまち唐琴どおりを結ぶルートにレトロな感じのバスを走らせたり、名古屋の明治村のように町ごと昔の雰囲気を作り、JR 邑久駅に降りたところからレトロな雰囲気を味わえるようにしてはどうか。

(市長) 地元で何かやろうという気運が高まれば協力はしていただけると思う。中央公民館も大正浪漫をイメージした建物なので、うまく活用できれば。また、バスが好きな方は相当数いらっしゃるので、何かできないか、働きかけなども行いたい。

- ・夢二は、ネームバリューはあるがインパクトが薄い。坂本龍馬などは、明治以降に大変美化されたようである。夢二も、退職後くらいの年代の人に売り込めるようインパクトを与えるような売り出し方を考えたらよい。

(市長) 最近、ミシュランのグリーンブック(観光)の担当者が瀬戸内市を訪れ、夢二生家やしおまち唐琴どおりなどをまわった。外国の方はミシュランのガイドブックを見て訪れる場所を決めているが、今まで市内で掲載されていたのは国際交流ヴィラだけだった。海外に向けても PR していきたい。

- ・JR 赤穂線も、絵を描いたイベント列車が走っていたこともあった。

- ・中国の上海でも、近代的なビルがすごい勢いで建っているが、昔ながらのまちなみを保存している地区もあり、たくさんの人が訪れている。古いものに対する需要はあると思う。

- ・やはり、人がたくさん来ることを考えたらよい。何百人も人が来たときに、市内に駐車場や宿泊先がないのが課題。駐車場の問題は、錦海塩田跡地に駐車場を作ってピストン輸送をすれば解決すると思う。

- ・美作市大原町では、宮本武蔵にちなんだ剣道大会などを行っているが、ネームバリューだけで店や宿泊先などがなくても人が集まってくる。店などは必

要ないのではないか。夢二でまちおこしをするなら、芸術で行えばよい。芸術家を牛窓の空き家に呼んではどうか。税の面で優遇したり、アトリエ建設資金を援助するなどすれば、人が集まり、集まった人がまた人を呼ぶようになり、お金をかけずに経済効果が生まれる。

・牛窓に海底水族館を作ってはどうか。

（市長）あったら面白いと思う。しかし、建設費がかかるので難しい。